

元気に仲良くのびのびと!

～地域で育む安全で安心な居場所～



活動方針

子どもたちの放課後の安全で安心な居場所づくり
ルールを守りみんなで仲良く楽しく過ごす

開催場所

里山自然学校はずみの里、老松市民センター、老松小学校

開催日

活動期間／4月～2月
活動曜日／月曜日～金曜日
活動時間／4月～10月 14:30～16:30、11月～2月 14:30～16:00

登録児童生徒数

児童 71 人

指導員等登録人数

指導員 18 人

活動の様子

① 日頃の様子

小学校の登校日の放課後に教室を開催しており、子どもたちにとっては放課後の日常になっています。活動は、宿題や屋外・屋内での自由遊びを基本として、子どもたち自身がやりたいことを見つけて活動しています。また、木曜日をスポーツの日とし、隣接する老松小学校の体育館や校庭で体を動かし、月1回のお話し会やおやつづくりなどをして楽しんでいます。挨拶や言葉づかい、整理整頓などの約束事を決め、曜日ごとに担当する指導員が子どもたちを見守り、指導にあたっています。



月1回のおやつづくりでのパン焼き。じょうずに焼けたかな

② 特別活動

7月には子どもたちが楽しみにしている『屋台まつり』を開催しました。「工作」や「遊び」、「実験」コーナーを設けて、グループごとにコーナーを回り楽しみました。工作では、木製のふくろうの壁掛けをみんなで作り、地区の夏祭りで展示しました。いつもは賑やかな子どもたちも、この時だけは集中して作品制作に取り組んでいました。また、子ども教室農園では、枝豆などを育て、種まきや草取りなどの管理、収穫までの一連の作業にみんなで取り組み、収穫した枝豆は、茹でてみんなでおいしくいただきました。



屋台まつりでの射的。高得点目指して狙いをさだめます

特色ある活動紹介

老松地区子ども教室は、里山自然学校はずみの里を主な活動場所としており、花泉地域内の各小学校から来る放課後児童クラブの子どもたちと同じ場所で活動しています。活動は自由遊びを基本とし、毎日子どもたちがやりたい遊びをおもいっきり楽しみ、時には放課後児童クラブの子どもたちとの交流を図りながら、分け隔てなく活動しています。

年間を通じて、季節ごとの「おらほのしきたり行事」にも取り組みました。

春には、老松市民センター敷地に鯉のぼりをあげ、風になびく鯉のぼりを見ながら、子どもたちは走り回って喜んでいました。夏には、「七夕会」を開催し、子どもたちが願いを書いた短冊や吹き流しを青竹に飾りつけて七夕をお祝いし、秋には中秋の名月にちなみ、ススキやお供え物をして、「お月見」についてのお話やクイズをしながら、お月見団子をみんなで食べました。冬には、小正月に合わせて、餅をミズキの枝に飾りつける「めえだまならし（まゆだまならし）」や節分行事に合わせて、豆まきや長い恵方巻き作りにみんなで挑戦しました。

この他にも、8月には「流しそうめん」、12月には「ク

リスマス会」、2月は「お楽しみ会」をして楽しみました。

流しそうめんでは、流れているそうめんを次から次へと口いっぱいにはおぼり、クリスマス会ではイチゴいっぱいのケーキづくりやサンタクロースからのプレゼントもありました。お楽しみ会では、ゲームやおやつ作りを行い、本年度の締めくくりの会となりました。

自然の木や植物などを材料にしたリース作りや、木の皮を煮だしての染物にも挑戦しました。川での魚とりや野山への散歩、梅の収穫など自然の中での活動も行い、多くの体験活動や遊びを通じて、感じ、学び、元気に活動できました。



ミズキの枝にお餅をバランスよく飾りつけ

今後の取組み

子どもたちが元気にのびのびと遊べる安心な居場所を確保するため、安全面での見守りを強化できるように指導員体制を工夫していきたいと思えます。

また、高学年の参加者が少ない中、縦の関係での活動がうまくできず、異年齢間で交流が図れるような活動を積極的に取り入れていきたいと思えます。

挨拶や言葉づかい、整理整頓などの約束事については継続して指導しながら、体験活動や季節の行事を通して、今後も意義のある子ども教室づくりに努めていきたいと思えます。



梅の収穫。ここにもたくさんあるよ～

保護者の声

季節に合わせた行事やおやつ作りなど、楽しく参加しているようです。

他の地区とは違って、毎日通える子ども教室がこの先も続いて行ってほしいです。指導員のみなさんには大変感謝しています。

指導員の声

子どもにとって、学校でもなく、家庭でもない自由な空間なので、安全・安心に注意を払って見守ってきました。活動の特徴は、月一回の割合で時季にあった行事を取り入れ、由来などを学ぶ機会になったと思えます。子どもの思い出作りに頑張ります。



クリスマス会での記念撮影。みんなで、はい！ポーズ

地域で育む日形っ子

～人と人を結ぶ心～

活動方針

放課後に勉強や文化活動、いろいろなスポーツや遊びを通じ、地域の方々との交流と体験できる場所を設けて元気で健やかな「日形っ子」を育む

開催場所

日形市民センター

開催日

活動期間／5月～2月
活動曜日／木曜日
活動時間／14:45～16:30

登録児童生徒数

児童 16 人

指導員等登録人数

指導員 8 人

活動の様子

① 日頃の様子

日形子ども教室は、老松小学校の日形地区の児童が登録しています。みんな元気がよく、時に悪ふざけが過ぎ、注意されることもあります。普段から上級生が下級生の宿題を見てあげたり、一緒に遊んであげたりしています。人数が少ない分お互いを理解し合い、思いやっている様子がうかがえます。公共の場所での活動が多くなるため、ルールや約束を守ること、あいさつをしっかりすることなどを意識して指導しています。



炎天下で食べる流しそうめん、最高！

② 特別活動

伝承活動として、日形太鼓の練習を活動に取り入れています。練習は高学年がリーダー的な役割を務め、下級生への指導を行っています。



上級生が中心となり日形太鼓の練習をしています

特色ある活動紹介

地域の伝統芸能の「日形太鼓」の練習に取り組み、夏まつりや敬老会などの地域行事で披露しています。学校統合により日形太鼓の伝承が絶えないように、子ども教室の活動に取り入れています。

本年度で5年目のハロウィンパレードは地域に定着し、学校統合で普段見かけることの少なくなった子どもたちとふれあう機会として、地域の皆様も楽しみにしています。時期が近づくと、歩くコースや時間、子どもたちの人数など市民センターに問い合わせが寄せられます。

創作教室では、7月に行われる日形夏祭りの会場を飾る「ちょうちんづくり」を、11月の日形秋祭りに出展する「プラ板工作づくり」をしました。

12月には、子ども教室などでお世話になった地域の方への感謝の気持ちを伝える場として、「クリスマス会」を行っています。子どもたちで招待する方を決め、招待状・感謝状をつくり、当日の進行・アトラクションの内容など、企画から進行まで子どもたち自身で行います。

そのほか、環境教育の一環として近年話題になることの多いスポーツゴミ拾いを平成27年度からいち早く活動に取り入れています。



ハロウィンパレード、地域の人たちとの貴重な交流の場になっています

今後の取組み

学校や家庭ではできない経験をする機会を提供するとともに、地域とのふれ合い・支え合いの機会を意識した事業を展開していきたいと思えます。

また、少人数なりの活動を通して、児童の健全な育成の一助になるよう特色ある活動に取り組んでまいります。



夏祭りで飾るちょうちんをみんなで作りました

保護者の声

- ・家や学校ではできない貴重な体験をする場所としてできる限り存続してほしいです。
- ・地域の人が地域の子どもを見守り、一緒に活動する日形地域の子どもたちのための教室であり、続けてほしいです。

指導員の声

日形小学校の閉校に伴い、子どもたちや保護者と地域の人たちとの繋がりを薄れさせないためにも、人数は少ないながらも、活動を続けていきたいです。



クリスマス会、招待者、指導員さんと一緒にパチリ

みんな仲良し! 楽しく遊ぶぞ かざわっ子!

活動方針

あいさつや片付けなどのルールを守り、異年齢で仲良く交流しながら元気に遊び、楽しく過ごせる場所にする

開催場所

金沢市民センター

開催日

活動期間／5月～12月
活動曜日／木曜日
活動時間／5月～10月 14:30～16:30、11月～12月 14:30～16:00
※土日の開催、長期休業中の開催あり

登録児童生徒数

児童 53人

指導員等登録人数

指導員7人、ボランティア2人

活動の様子

① 日頃の様子

毎週木曜日は、子どもたちが「こんにちは！」と元気に市民センターへ駆け込んできます。参加記録簿に○を記入し（○を記入する代わりに絵を描く子どももいました。）、すぐに宿題を始める子ども、外に遊びに行く子どもなど活動は様々ですが、指導員は、宿題を見てあげたり、外でボール遊びや縄跳び、鬼ごっこなどをして一緒に遊びます。

子どもたちが安全に楽しく過ごせるように目を配りながらも、靴の揃え方、ランドセルの置き方などには厳しく指導し、自由に過ごす中にも、決められたルールを守れるよう互いに心がけています。



フロアーカーリングに挑戦

② 特別活動

夏休み期間中に自然体験学習を行いました。本年度は、東山町にあるセメント工場の見学と川崎町で河川調査船の乗船体験をしました。

工場見学では、石灰石の採掘現場と施設内を見学し、広大な採掘場や大きな機械、施設にびっくりしていたようです。

また、河川調査船では、1時間ほどの乗船でしたが、水上で水しぶきや風を感じながら、北上川の生物・環境について学びました。その後は、竹の水鉄砲を作って、みんなで水の掛け合いをしました。びしょ濡れになる子どももいましたが、暑い一日を楽しんだようでした。



あつ～い1日!! 夏休み自然体験学習

特色ある活動紹介

本年度も様々な体験活動や季節行事に合わせたおやつ作り、地域行事に合わせた創作活動等を行いました。

学校の休日を利用した移動研修も行いました。『ボルダリング体験』は、ほとんどの子が初めてでしたが、すぐに高いところまで上れるようになり、2時間ほどの体験でしたが、とても短く感じられました。秋には地元の栗林で『栗拾い』をしました。30分も経たないうちに袋の半分ほどの栗を拾い、重くて持ちきれない様子でした。休憩時間は、地域の方々と一緒に焼き栗を作ったり、大人が捕まえたマムシを見せられたり、栗林の中を軽トラの荷台に乗せてもらったりしました。移動研修では、いつもの放課後子ども教室とは違った活動を体験することができました。

おやつ作りは、7月は七夕行事に合せて、炊飯器を使った「ガトーショコラ作り」に挑戦しました。チョコを溶かして材料を混ぜて焼きました。9月は十五夜にちなんで「月見団子づくり」を行い、だんごを丸めて鍋に入れ、あんこ・みたらし・ずんだの3種類をいただきました(トッピングの生クリームは人気でした)。12月は「クリスマスケーキ作り」をしました。指導員が混じって9班に分

かれ、スポンジケーキに生クリームやフルーツ、お菓子などをたくさん盛り付け、班ごとに個性のあるケーキができました。子どもたちはケーキをあつという間に平らげてしまい、一足早いクリスマスを楽しみました。

創作活動では、地区民運動会用に、各集落や選手への応援メッセージ付きのカラフルな小旗を作り、運動会を盛りあげました。また、11月の「秋まつり」に合わせて2種類の看板を作成しました。看板文字を色鮮やかに塗ったり、ハートや星を描き込んだり、色紙を張り付けるなどしてとても目立つ看板ができて、多くの来場者に見ていただきました。



ボルダリング体験・小旗作り・おやつ作りの様子

今後の取組み

今後も、季節の行事や自然体験を取り入れた活動に加えて、地域の行事に合わせた活動を行っていききたいと思います。その中でも子どもたちにはルールを守り、仲良く遊べるよう指導していきます。指導員の人材確保が難しくなっていますが、地域に協力をお願いし、増員に努めていきたいです。

かざわっ子クラブは小学校との距離が近いため、参加者が多く、学年の異なる子どもたちの交流の場として重要な役割を担っています。学校や保護者の皆さん、地域と連携をとりながら取り組んでいきます。



市民センター駐車場の落ち葉掃除を手伝ってくれました

保護者の声

子ども教室は、季節にちなんだ行事やおやつ作りなど普段家庭ではできない体験ができる貴重な場所だと思っています。子どもからも楽しそうに活動の話聞いています。指導員の皆さんには、子どもたちを見守っていただき、大変感謝しています。

指導員の声

週に一度、元気な子どもたちと過ごすのを楽しみにしています。また、子どもたちの成長を見られるのも、この指導員の特権と考えています。今後も事故やケガがないように安全に楽しく過ごせるように見守っていきたくと思っています。



子どもたちの自由な遊びを優しく見守っています

元気いっぱい遊びのアトリエ

～集団遊びから育む「子ども力」～



活動方針	地域と関わりを持ちながら、子どもの自主性・自発性を引き出し、広がりのある「子ども力」を育む
開催場所	大東勤労者体育センター
開催日	活動期間／5月～2月 活動曜日／月曜日～金曜日 活動時間／15:00～18:00
登録児童生徒数	児童 72人
指導員等登録人数	指導員 18人



活動の様子

① 日頃の様子

毎日「こんにちは～」、「ただいま～」と元気な声が教室内に響きわたり、子どもたちはすぐに宿題にとりかかります。宿題が終わると自由遊びをします。体育館や隣接するグラウンド、教室周辺で好きな遊びに取り組んでいます。本年度は活動の1つとして「みんなで雑巾を使ってお掃除をしよう」を試みました。お掃除リーダーは毎日替わり、時には低学年が頑張ってくれます。初めは雑巾ダッシュがうまくできなかった子どもたちでしたが、2学期が終わる頃には体力がつき、「楽しい！」との声も聞こえてきました。



雑巾ダッシュ!! 体力がつき、床はヒッカヒカ

② 特別活動

子ども教室の会場から歩いて3分の場所に砂鉄川があります。本年度も保護者や地域のボランティアの方々のご協力をいただき、川遊びをしました。この日は、子どもたち63人が参加し、網や素手で魚を捕まえたり、泳いだり潜ったりして川遊びを楽しみました。水は冷たくても子どもたちは元気いっぱい。「また、来年の川遊びが楽しみ～」と微笑んでいました。



砂鉄川で川遊びをしました



特色ある活動紹介

本年度も木のぬくもりに触れ、世界に一つだけの作品作りに挑戦した大原っ子です。昨年度同様に、ものづくりマイスターさんに指導をお願いし、1・2年生は木版切抜き絵、3～6年生は椅子の製作をしました。参加した子どもは40人でした。

1年生は親子で参加し、子どもだけでなく大人も夢中になって作業に取り組んでいました。板に好きな絵を描き、糸のこぎりで切り抜き、丁寧に色塗りをして完成です。でき上がった作品を見て参加者全員が大満足の表情でした。

3年生以上は、少し高度な技術が必要な椅子作りに挑戦しました。子どもたちは、ものづくりマイスターさんに教わりながら、少しずつ形になっていく過程を楽しみ、喜んで作業に取り組んでいました。昨年度、釘打ちがメインのペン立て作りで、子どもたちは釘打ちを経験していたので、「トントン、トントン」という音を奏でながら作品を組み立てていました。最後に自分が好きな絵や文字を描き完成です。作品は11月の地区文化祭に出展しました。

今後の取組み

基本的に本年度同様、子どもたちの自主性・自発性を引き出した活動を主体にして取り組んでいきたいと思えます。本年度から始めた雑巾を使った掃除は今後も継続し、遊びの要素を取り入れながら、子どもたちが率先して活動できる取組みを目指します。また、地域の方々や保護者も加わった自然体験やものづくり活動、世代間交流にも取り組んでいきます。子ども教室の約束事が守られ、安全で居心地のよい居場所づくりを心がけ、特色ある子ども教室づくりに努めていきたいと思えます。



お楽しみ会にサンタさん登場!!

12月には食生活改善推進員の方々に協力いただき、じゃがいもドーナツ作りをしました。時間の関係で生地は作っておき、子どもたちは1人3個ずつドーナツの形を整え、そのうち1個は好きな形を作りました。油で揚げた後、粉砂糖を振りかけ、モチモチのドーナツができ上がりました。とてもおいしくて、「家でも作ってみたい!!」という声も上がりました。



木工教室「木版切抜き絵作り」と「椅子作り」の様子

保護者の声

子どもたちの相手をしていただき、とても感謝しています。先生方とのやりとりを見ていると、ほっこりすることがあり、預けて良かったと思えます。友だちみたいだったり、お母さんのようだったり、たくさん学び成長させてもらっている気がします。

指導員の声

「ただいま!」と子ども教室に来るとすぐに宿題をする良い習慣が身についています。高学年が低学年の世話をし、低学年同士でもルールを守り、元気に遊んでいます。地域の宝である子どもたちの健やかな成長をこれからも見守っていききたいと思います。



ドーナツ作り 記念写真

元気いっぱい 遊びの楽園

～集団遊びの中から育む「子ども力」～



活動方針

地域と関わりを持ちながら、子どもの自主性・自発性を引き出し、広がりのある「子ども力」を育む

開催場所

大東開発センター、大東バレーボール記念館

開催日

活動期間／5月～2月
活動曜日／月曜日～金曜日
活動時間／15:00～18:00

登録児童生徒数

児童 66 人

指導員等登録人数

指導員 13 人、ボランティア 1 人

活動の様子

① 日頃の様子

興田地区放課後子ども教室の日常は、まず初めの30分間、和室で宿題をすることから始まります。早く終わった子どもは、読書やお絵描き、将棋、囲碁、トランプなどをして静かに過ごします。その後は、体育館でボール遊びやバドミントン、鬼ごっこをしたり、隣接する公園で遊具遊びや木登り等を楽しんでいます。サッカーが大好きな子どもたちのために、指導員さんが手作りのサッカーゴールを準備してくれました。子どもたちは大喜びで、学年の枠を超えてサッカーに夢中になっています。



サッカーを楽しんでいます

② 特別活動

毎年、季節のイベントとして、「七夕飾り作り」、「クリスマス会（おやつ作り）」を行っています。クリスマス会では、みんなが楽しめる内容を6年生が企画準備してくれました。本年度のおやつ作りは蒸カップケーキと焼カッププリンでした。グループに分かれ、卵を割る人、混ぜる人、カップに分ける人と全員が調理に参加しました。生クリームやチョコチップでトッピングして完成しました。クリスマス会には石橋校長先生と興田市民センター佐藤所長さんを招待し、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしていただきました。



クリスマス会でじゃんけんゲーム

特色ある活動紹介

昨年度からものづくりマイスターさんの協力をいただき、年に2回の木工教室を行っています。本年度は10月に3年生以上の子どもたちが椅子作りに挑戦しました。これまでは釘打ちがメインの活動でしたが、椅子作りでは電動ドライバーを使用し、釘打ちとはまた違った慣れない作業に苦労しながらも上手に仕上げることができました。

1・2年生は風船に毛糸を巻き付けて小物入れを作りました。でき上がった小物入れの中には、ふわふわねんどで作った作品を入れ、とても可愛い置き物ができ上がりました。



毛糸で張り子作り !!



椅子作りに挑戦 !!



本年度2回目の木工教室「宝物箱作り」

今後の取組み

基本的に本年度同様、子どもたちの自主性・自発性を引き出した活動を主体にして活動計画を作成し、安全で居心地のよい居場所づくりを心がけていきたいと思ひます。本年度2回開催した「ものづくり教室」は来年度も継続し、別のものの作製に挑戦することでものづくりの喜びを体験させていきたいと思ひます。また、地域の方々との交流を深められるような活動も取り入れていきたいと思ひます。



向日葵の種を植えるお手伝いをしました

保護者の声

放課後子ども教室は、安心して子どもを預けられる場所です。時には、地域の方々にもご協力いただひでの「木工工作」や「おやつ作り」などの特別活動もあり、子どもたちはとても楽しく参加しています。指導員さんの温かい見守りに感謝しています。

指導員の声

子どもたちは、毎日元気に子ども教室にやって来ます。宿題も遊びも大声を出して、にぎやかに過ごしています。少子化の今だからこそ、子どもたちは本当に地域の宝物です。キラキラした表情に無限の可能性を感じる1年でした。



1回目の木工教室 集合写真

地域で守り、地域で育てる



活動方針

子どもの自主性・自発性を引き出し、何事にもチャレンジするたくましい子を育てる

開催場所

猿沢伝承交流館

開催日

活動期間／5月～2月
活動曜日／月曜日～金曜日
活動時間／15:00～17:00

登録児童生徒数

児童 42人

指導員等登録人数

指導員 13人、ボランティア 1人



活動の様子

① 日頃の様子

子ども教室に来たらまず宿題を終わらせるという習慣がしっかりと身に付き、ルールがなくても宿題に取り組むことができます。

本年度は、子ども教室で使用している猿沢伝承交流館のホールを毎日掃除することに決めて、全員でホールの雑巾がけをしました。



全員で楽しみながら雑巾がけ

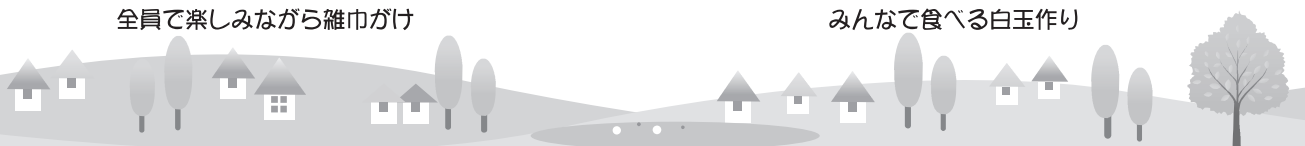
② 特別活動

地域の方からクリスマスツリーをいただいたので、子どもたちはそれぞれ好きな飾りをアイロンビーズで作り、ツリーに思い思いに飾り付け、教室全体がクリスマスモードになりました。

また、卒業パーティーでは、猿沢の名物である猿沢羊羹のお話を聞き、猿沢羊羹の材料のあんこを使ってみんなで食べる白玉作りをしました。低学年は白玉を作り、高学年はゆでるといふ役割分担を決め、手際よく作り、おいしくいただきました。



みんなで食べる白玉作り



特色ある活動紹介

普段の放課後子ども教室で使用している机が古く、落書きが書いてあり、子どもたちが机を傷つけているということを知り、物を大切に使うことを子どもたちと一緒に考えました。「色を塗ってきれいにしたい」と子どもたちから意見が出たので、ただ色を塗るのではなく、子どもたちが普段体験できないような塗り方を考えました。いろいろ調べたところ、手に直接絵の具を付けてそれぞれの感性で色を塗り、自分の個性を引き出すことにしました。

当日、参加した子どもたちはグループに分かれ、グループごとに3色の色を決めて、手で色を塗りました。段ボールをパレットがわりに使用し、指や手の平で模様や手形を付けたり、音符や虹の絵を描いたりしました。



自分たちのアートでオリジナルの机づくり

今後の取組み

子どもたちは大きな可能性を秘めていることから、いろいろな体験をさせながら、子どもたちの個性や感性を引き出すとともに、ルールや整理整頓、物を大切に作る気持ちなどを子どもたちに徹底していきたいと思います。

また、子どもたちの自主性・自発性を高めるために、特別活動の内容を子どもたち自ら発案してもらい、実践できるよう取り組んでいきます。



志村けんのバカ殿様放送の翌日の遊び

保護者の声

子ども教室の中で宿題をしてから遊ぶことが身につく、また学年に関係なく遊んだりすることができ、いろいろなことを学べる子ども教室で、ありがたいです。

指導員の声

子どもたちが自ら宿題をし、いつも遊びに使うホールを雑巾がけし、目一杯遊び、日々成長が感じられます。時にはケンカをしたと思ったら、すぐに一緒に遊んだり、そんな子どもたちの個性と向き合いながら見守っていきたいです。



おしるこ de 卒業パーティー

子どもたちのスマイルで、 地域をハッピーに!!!



活動方針	遊びを通して自主的・自発的に行動できる子を育む
開催場所	東山地域交流センター、本町自治会館
開催日	活動期間／5月～2月 活動曜日／水曜日～金曜日 活動時間／15:00～18:00 ※土日の開催、長期休業中の開催あり（2～3回）
登録児童生徒数	児童49人、生徒2人
指導員等登録人数	指導員9人、ボランティア24人



活動の様子

① 日頃の様子

ハッピースマイル長坂は、毎週水曜日から金曜日の15時から18時まで開催しています。

小学校から会場までの道のりが長いため、会場に着くとまず休憩します。一息ついたところで、宿題に取り組む子、遊び始める子などさまざまです。

指導員は、宿題の様子を見たり、子どもたちから声をかけられ一緒に遊んだり、子どもたちに寄り添いながら見守りをしています。



「いくよ!!!」「次、私の番ね～」

② 特別活動

7月、指導員とボランティアの方と一緒に短冊や七夕飾りを作り、東山地域交流センターのロビーに飾り付けを行いました。12月は、木の枝やつたを利用し、クリスマスリースを作りました。用意した材料で子どもたちは自分なりに考え、上手に作りました。クリスマスリースは、終業式の日を持ち帰り、家でも楽しみました。迎えに来る保護者や交流センターの利用者に子ども教室の活動を知ってもらおう良い機会になりました。



クリスマスリースを作りました!



特色ある活動紹介

ハッピースマイル長坂は、東山地域交流センターと本町自治会館を活動場所としています。

東山地域交流センターは、広いホールがあり、伸び伸びと過ごすことができます。図書館も併設されているので、読書や宿題をする姿も見受けられます。本町自治会館では、ドミノや折り紙、段ボールで秘密基地を作ったり、冬の時期はこたつに入ったりと、それぞれ思い思いに過ごしています。

本年度の活動も、昨年度と同様に、「ハッピースマイル松川」と一緒に市民センター事業による「学びの土曜塾」を共催で行いました。

『夏の学びの土曜塾』では、川崎防災センターで河川調査船「ゆはず」に乗り、北上川下流の探検をしました。船内を見学したり、船の甲板に出たり貴重な体験ができました。昼食には、ピザ作りを体験しました。生地を丸く広げ、用意されたトッピングを好きなようにのせていきました。焼き上がりが待ち遠しいようで、暑い中、ピザ釜から離れようとしませんでした。焼きたてのピザは、とてもおいしく感じたようです。

今後の取組み

平成26年4月に東山小学校が統合し、4年が経ちました。統合後も、長坂・松川のそれぞれで活動してきましたが、来年度から新たなハッピースマイルとして生まれかわります。

これからも、「安全・安心な居場所」として見守りを続け、適切な指導に努めてまいりたいと思います。



「早く、焼けないかな〜。」暑い中、ピザ釜から離れず…

『冬の学びの土曜塾』では、「竹ばすり&果報だんごを作ってみよう!」を開催し、竹を切る作業でノコギリやなたの使い方を地域の方々に教わりながら、ひとつひとつの作業を慎重に行い、自分だけの竹スキーを作りました。その後、萩の枝を入れた団子を丸め、果報だんご汁を作り、持参したおにぎりと一緒にみんなでおいしくいただきました。



自分だけの竹ばすりできたよ〜!

保護者の声

本年度から、ハピスマを利用させていただいております。毎週、楽しみにしているようです。

指導員の皆さんのおかげで、安心して子どもたちをお願いできることに、心から感謝しています。

指導員の声

毎週木曜日には、婦人会の方々がボランティアで来てくださり、子どもたちも楽しみにしています。

地域の方との交流ができるということは、子どもたちにとって大切な居場所だと日々感じています。



年末に大掃除をしてピカピカになりました

ハッピーで スマイルいっぱい!



活動方針	子どもたち一人ひとりが自分で考え、自由に豊かな活動をする居場所とする
開催場所	松川市民センター
開催日	活動期間／5月～2月 活動曜日／木曜日 活動時間／15:15～17:15
登録児童生徒数	児童 18人
指導員等登録人数	指導員 5人

活動の様子

① 日頃の様子

東山小学校の統合から4年が経過しました。松川地区の児童はスクールバス通学のため、放課後子ども教室に参加する児童は、統合前に比べると半減しています。

学校から帰って来た子どもたちに、指導員たちが「おかえり」と声をかけます。すると、元気よく返事が返ってきます。その後、一目散に講堂に向かい遊びや宿題を始める子、おしゃべりに夢中になる子、それぞれが自分の居場所を見つけて、自由に過ごしています。

一人ひとりの自主性を大切に、時には優しく、時には厳しく、指導員は見守っています。



百人一首って、むずかしい…

② 特別活動

7月と12月の長期休業の前に1回ずつ、一級印章彫刻技能士を講師に消しゴムはんこ教室を開催しました。

消しゴムに自分で選んだデザインを写し、彫刻刀や竹楊枝でその線に沿って彫り、オリジナルはんこを作りました。さらに、子どもたちの共同作品として、ハガキ位の大きさのはんこも作りました。

教室では、ずっと子どもたちの笑い声が部屋中に響きわたっていて、とても楽しい時間になりました。



消しゴムを使ってはんこ作り

特色ある活動紹介

ハッピースマイル松川では、「挨拶をする、靴を揃える、使った遊具は後片付け、帰る前には掃除をする」という最低限のルールはありますが、学校のように全員で一斉に活動するということはありません。

指導員が指示することも特になく、子どもたち自身が思い思いにハッピーでスマイルいっぱいな時間を過ごしています。

活動場所は、市民センターの吹き抜けのロビーや思いっきり遊べる広い講堂です。靴下を脱ぎ、裸足でかけ回る姿にはびっくりさせられました。天気のいい日は青空教室、前庭の遊具などで遊びます。そのほか、空いている会議室を使う日もあります。

その日の施設利用状況によって、活動場所に制限がある場合がありますが、どこで宿題をするか、どこで遊ぶか、どのくらい声を出してもいいかなど、自分たちで周りを見ながら判断しているようです。時には、利用者などから声をかけられ、恥ずかしそうに返答している姿を見かけました。家族や身近な人だけでなく、地域の人と接することができる場にもなっています。

特別活動の消しゴムはんこ教室で制作したはんこは、

地域協働体いわて松川やくにたつ会が毎月発行して松川地区全戸に配布している広報紙「まづが便利」の各号タイトル脇に掲載して、誰がはんこを作ったかが紹介されています。

自分の作ったはんこが掲載されることを希望する子どもが多く、その広報紙を手にする地域の方々からは、「○○ちゃんはお○○さんちの家の子?上手だねえ」などと、家庭内や地域の中でのコミュニケーションづくりに一役買っています。

地域の人からは「元気な子どもの声が聞こえる松川市民センターは、いいね!」という声が聞かれます。



※当初は「松川」という地名に因んだはんこを掲載していましたが、平成29年度から季節のはんこなども掲載しています。(平成27年から続く、いわて松川やくにたつ会広報誌「まづが便利」のタイトル写真)

今後の取組み

一人ひとりが自分で考え、自由に豊かな活動ができるよう、また地域や保護者の皆さんの協力を得ながら、子どもたちの放課後の居場所づくりに取り組んできました。

子どもは地域の大切な宝であり、今後も地域の中で見守り育んでいきたいと思えます。



大相撲東関部屋夏台宿の歓迎看板作りの様子

保護者の声

上級生、下級生などに関係なく一緒に過ごすことができ、特にもみんなで思いっきり体を動かせるボール遊びや鬼ごっこなど、とても楽しみに参加しています。また、指導員さんほか地域の大人たちとも関わりを持てる貴重な場所です。

指導員の声

学年や男女を問わず宿題を教え合い、思いっきり遊び、楽しく活動しています。学校でも家庭でもない「居心地のよい場所」なのでしょう。地域の宝である子どもたちの居場所づくりのお手伝いができ、子どもたちから元気をもらい、とても楽しいです。



宿題のヒントは教えても、答えは教えません

充実した放課後子ども 教室をめざして

活動方針

放課後における子どもたちの安全で健やかに過ごせる居場所をつくる

開催場所

室根東小学校

開催日

活動期間／4月～2月

活動曜日／月曜日～金曜日

活動時間／4月～11月 15:00～18:30、12月～2月 15:00～18:00

登録児童生徒数

児童 47 人、生徒 1 人

指導員等登録人数

指導員 8 人

活動の様子

① 日頃の様子

子どもたちは、放課後の活動や自由遊びの場として元気に来所しますが、まず宿題を済ませてから遊ぶのがルールです。先に終わった子から他の児童や生徒の邪魔にならないよう、体育館や外で遊ぶことにしています。

子どもたちに甘えや怠け癖が出てくると、全体がゆるんで学習がおろそかになりがちです。指導員同士で連携して時間と活動にけじめをつけながら、最低限のルールに沿った活動を行っています。



まず宿題から終わらせよう

② 特別活動

節分間近の1月26日に、30mのジャンボのり巻きづくりを行いました。毎年、室根市民センターと共催で実施している行事で、指導員もスタッフとして参加しました。子どもたちも、みんなで作る30mのり巻きづくりを楽しみにしています。

当日は、テーブルをつなげてラップを敷き、のりを重ね合わせて酢飯、具材を乗せ、掛け声で一斉に巻いて完成です。できあがったのり巻きを切り、みんなで恵方を向いておいしく食べました。

指導員も具材を運んだり子どもたちに指導したりと大忙しでした。消毒を徹底して衛生面にも気を配り、楽しくおいしい行事でした。



長ーいのり巻き 巻けるかな？

特色ある活動紹介

昨年度作った手づくりカルタをアレンジし、『追いかけて手づくりカルタ取り大会』を行いました。

昨年は、ことわざ辞典などを参考に、画用紙に絵札を描いてカルタをつくり、体育館でカルタ取り大会を楽しみました。

本年度は、カルタを増やしてひと工夫。腰からぶら下げるように紐を付け足し、読まれたカードを見つけて追いかけて取るというもので、ルールも自分たちで考えました。途中で紐が切れるなど、なかなかうまくいかない場面もありましたが、みんなで楽しめるように工夫し、体育館を存分に使ってカルタ取りをしていました。

来年度はさらにグレードアップをめざします。何が加わるのか楽しみです。



追いかけて手づくりカルタ取りを同時に楽しみました

今後の取組み

子どもたちの中には、皆で使ったものの片付けなどが一緒にできない子どもがいます。集団で活動している中で、協調することや責任を持つことなどが身に付くよう、指導員同士で考え、取り組んでいきたいと思っています。



七夕づくりも恒例行事です

保護者の声

教室にお世話になり大変助かっております。宿題を終わらせてから遊ぶルールとなり、子ども教室がないときも、家庭に帰り宿題を終わらせてから遊んでいます。教室に参加するようになり、子どもは元気に伸び伸びとしています。今後もよろしくお願いします。

指導員の声

子どもたちの一年一年の成長を見るのが楽しみです。そのため、安全で安心して過ごせる教室になるよう日々努力しています。少ない指導員での教室でもあり、目の届かないときもあることが心配ですが、今後も頑張ります。



安全第一で楽しい教室を心がけています

地域が求める 放課後子ども教室に

活動方針

放課後における子どもたちの安全で健やかに過ごせる居場所をつくる

開催場所

室根西小学校

開催日

活動期間／4月～2月

活動曜日／月曜日～金曜日

活動時間／4月～11月 15:00～18:30、12月～2月 15:00～18:00

登録児童生徒数

児童 93 人、生徒 4 人

指導員等登録人数

指導員 12 人

活動の様子

① 日頃の様子

平日の放課後に開催し、宿題や自由遊びが日常となっています。参加する子どもたちは多いですが、スポ少の活動が始まるまでの待ち時間で参加する子どもあり、狭い教室に一度に集まり、短時間で少なくなる日も多いです。

子どもたちは体を動かすことが大好きなので、ケガがないように見守っています。読書や室内遊び、おしゃべりをする子どもおり、それぞれが遊びを見つけて楽しんでいる賑やかな教室です。



宿題すませてから遊ぼう

② 特別活動

外で遊べない冬の遊びとして、体育館で紙ヒコーキ遊びをしました。

子どもたちは、シンプルで丁寧に折った紙ヒコーキや様々な種類の紙ヒコーキなどを作り、飛ばし方も工夫しながら挑戦しました。誰が一番長く、遠くまで飛ばせるかを比べながら楽しんでいました。



ほくのほうが上手に飛ばせるよ！

特色ある活動紹介

体を動かすことが大好きな子どもたちなので、体力づくりをしながら集団生活の中で思いやりを育み仲良く過ごせるよう、様々な運動をしています。

一年を通して人気なのはドッジボールです。人数が少ないときでも、低学年から高学年まで一緒になって元気に遊んでいます。ボールの取り合いでケンカになるときもありますが、仲直りしながらよく遊んでいます。

外に出て遊べる季節になると一輪車が始まります。5月の運動会で披露する一輪車パレードに向けて、練習を頑張っています。低学年の子ども上級生の乗り方を見て学び、追いつこうと頑張っています。できたときの喜びは達成感として自信につながり、子どもたちの成長が見えます。

最近の一番人気は、教室内の机を合わせて行うテーブル卓球です。教室内の机を使うため、みんなの宿題が終わってから始めることにしました。今までは自分の宿題が終わると真っ先に遊んでいた子ども、低学年の宿題を見てくれるようになったり、まだ遊んでいない

子に順番を促したりするなど、みんなが楽しく遊べるように気を配っています。

少子化の現在、兄弟や近所の友だちも少ない中、放課後子ども教室は子ども同士のつき合いを学ぶ貴重な場でもあるようです。



テーブル卓球に夢中な子どもたち

今後の取組み

七夕や節分などの季節行事だけでなく、昔の遊びや伝統行事など、地域の方々と交流しながら教えてもらえる体験プログラムを計画していきたいと考えています。

学校統合が進むことになり、今後の放課後子ども教室のあり方やプログラムの内容など、保護者の意見も取り入れながら、指導員が連携して取り組んでいきたいと思っています。



一輪車も人気の遊びです

保護者の声

放課後に宿題をし、大勢の子どもたちで遊べる場があり、とても助かります。指導員の皆さんは、いつも安全に気を配り見守ってください感謝しています。今後ともよろしくお願いします。

指導員の声

1週間の学校予定等を考慮し、メニューを考えて活動しています。子どもたちが毎日元気に活動できるように、できるだけプログラムを用意したいです。

また、子どもたちが毎日安全な活動を行うために、保護者の方や指導員同士の声を聞き、より良い教室になるよう取り組んでいきたいと思っています。



子どもたちが伸び伸びと遊べるよう見守ります

地域が寄り添い、健やかで 元気な子どもの日常をめざして

活動方針

放課後における子どもたちの安全で健やかに過ごせる居場所をつくる

開催場所

藤沢市民センター-黄海分館別館

開催日

活動期間／4月～2月
活動曜日／月曜日～金曜日
活動時間／15:00～17:00
※土日の開催、長期休業中の開催あり

登録児童生徒数

児童13人

指導員等登録人数

指導員16人、ボランティア3人

活動の様子

① 日頃の様子

きのみっこクラブ子ども教室は、黄海小学校の下校時間に合わせ毎日開催しています。

長期休業中は、午前中の開催で夏休み・冬休み・春休みの期間中も教室を開催しています。

来所の際は、大きな声で挨拶し、最初に宿題を済ませるよう指導しています。

できるだけ体を動かすように指導員同士協力し、けがのないように子どもたちを見守っています。



みんなで仲良く宿題を済ませます

② 特別活動

放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりのため、土日を除き、長期休業中も対応しています。

普段から体を動かすことに視点をおき、球技（サッカー・ピンポン・バドミントン等）を中心に、隣接する農村公園で運動を指導しています。

今後も、子どもたちの要望を聞きながら特別活動にも力を入れていきたいと思ひます。



寒くても元気におどっこ

特色ある活動紹介

きのみっこクラブ子ども教室は、地域ぐるみの支援により、保護者が中心となって運営されています。

放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりを主な活動としています。

この地域ぐるみによる見守り活動を通して、子どもたちの心と体の健全な育成ができるように、情報交換を兼ねて、月1回の定例会を保護者・指導員と共に開催しています。

きのみっこクラブ子ども教室は、学童クラブの取り組みに似た要素が多く取り込まれています。

活動期間が、土日祝日・お盆、年末年始を除くほぼ毎日となっており、働く保護者をサポートする体制をとっています。

また、図書館から本を借りるサービスを利用して、子どもたちにたくさんの本とふれあう機会の提供も続けています。

人生経験豊富な、地域の方々にも囲まれ、すくすく育ていく子どもたちの明るい未来に、指導員ともども期待しています。

子ども教室がきっかけとなり、地域コミュニケーションがますます活発となるよう、地域づくりの一環として今後も努力していきます。



指導員さんが本を借り換えます

今後の取組み

今後も子どもたちの安全で安心な居場所づくりのため、何ができるのか保護者・指導員が話し合っ進めていきたいと思ひます。

体験学習や特別プログラムも充実させていきたいと思ひます。



自然の造形に興味を示します

保護者の声

放課後、友だち同士で楽しく過ごしているようです。優しく見守ってくださる指導員の皆様には、本当に感謝しています。

指導員の声

地域の中で、子どもたちが声をかけてくれることがあり、嬉しく思ひます。

これからも子どもたちとの接点を大切に、温かく見守っていきたく思ひます。



子どもたちに寄り添い見守りを

一関市子ども健全育成プラン 指導者等合同研修会

第1回

開催日 6月25日(月) 9時30分～11時50分

会場 一関文化センター 小ホール

参加者 98人

内容 事例発表及び講話と実技

1 事例発表



① 放課後児童クラブ (マルキの家学童クラブ)

「マルキの家学童クラブ活動事例発表」

発表者 放課後児童支援員
千葉 真美子



② 放課後子ども教室 (中里放課後子ども教室)

「中里放課後子ども教室事例発表」

発表者 中里市民センター
所長代理 齊藤 裕美

2 講話と実技

「つくって遊ぼう」

講師 元小学校図工専科教員 相澤 征雄 氏

講話概要 子どもたちは、遊びをつくりだす天才です。本来遊びは子どもの生活そのものであり、遊ぶために作ることをとても喜ぶます。「あっ、おもしろい」そして「やりたい」、「ねえ教えて」と一生懸命です。それは、喜びを自分のものにしたいからです。自ら作り、遊ぶことの大切さを示しています。子どもの生活を楽しくするために手づくりの伝えあいの文化を大切にしたいと思い活動してきました。

実技 相澤先生著書の「つくって遊ぼう」の中から“折り紙こんにちば”、“マジックスクリーン”、“超能力カード”を製作しました。





開催日 11月27日(火) 9時30分～11時50分
会場 北上川学習交流館「あいぽーと」 学習スペース
参加者 42人
内容 情報交換会

情報交換会

「子ども達が抱える問題への対応の仕方を考えよう」

参加者が3～4人のグループに分かれて、それぞれの教室で抱える子どもの問題や悩みを、ワークシート（「課題解決の方策を一緒に考えよう！」[※]）に書き出し、問題を整理しながら、対応方法（解決策）についてグループ内で話し合いました。



助言者 県南教育事務所 主任社会教育主事 湊 一徳 氏

内容 子どもが抱えている問題に対応するために、次の3つの内容を整理することが大切です。
 ①課題を確認して、実際に現在の困りごとを整理すること。
 ②情報交流を通して、現在の困りごとを理解する色々な視点をもたらうこと。
 ③同じ悩みを持つ仲間とつながる機会として活用すること。



情報交換会「子ども達が抱える問題への対応の仕方を考えよう！」ワークシート
※ 表頭については、(1) 課題、(2) 課題の背景、(3) 対応の方策をそれぞれに記入してください。

子どもの課題 <small>（困りごと、悩んだこと、エピソードなど）</small>	課題・背景について <small>（わかったこと、経験、意識など）</small>	対応・方策 <small>（ゆらりと整うこと）</small>
□ □	① 困りごと ② 課題の背景、発達の遅れ・遅延など	
○ ○	③ 心身の・情緒的なこと、認知的特徴 （不安、興奮、気分、感情特性など） ④ 社会的性・対人関係の特徴	
	⑤ 関連性について （職業、学校・職場、友人・仲間など）	

※）ワークシート（「課題解決の方策を一緒に考えよう！」）

研修会開催に係る担当者所感

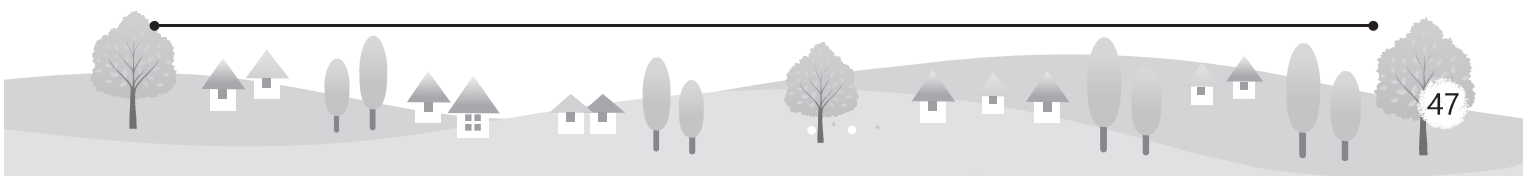
市が主催する研修会には毎回多くの参加があり、子どもの成長を見守るスタッフの高いニーズがうかがえました。

研修会開催時にはアンケートを取っており、毎回、参加者の8割～9割が内容について満足したという回答になっています。

また、次回以降の研修会で取り上げてほしい内容として、

- ・発達障がいの子どもの対応の仕方
- ・保護者への事故等の報告・対応の仕方について
- ・アレルギー対策について
- ・防犯について

などが寄せられており、来年度以降の参考とします。





平成30年度放課後子ども教室事業

報告書

平成31年3月 発行

〔発行〕 一関市教育委員会

〔編集〕 一関市子ども健全育成プラン運営委員会事務局
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
一関市まちづくり推進部いきがづくり課
TEL 0191-21-2111(代表)

〔印刷〕 トーバン印刷株式会社

〒029-0803 岩手県一関市千厩町神ノ田30-9
TEL 0191-52-2445 FAX 0191-52-4230



